

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療情報学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
15113	3	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	診療プロセス論Ⅱ (治療支援) (Clinical Process Ⅱ)				
担当教員名	吉田 理香				
授業の概要及び到達目標					
<p>○ 授業の概要：臨床検査の果たす役割や臨床現場での業務、主な臨床検査の進め方や項目について、検査の目的、対象、原理の概要と検査データの管理などを中心に学習する。</p> <p>○ 到達目標：医療情報学科の卒業生として、臨床検査関係の各種情報の収集や管理が実施できるような知識を習得する。また、診療情報管理士の試験に出題される臨床検査関係の問題を、理解して解けるような知識の習得を目標とする。</p>					
準備学習等					
<p>○ 予習について 各回の授業開始までに下記に指定する予習を1時間行っておくこと。</p> <p>第1回：教科書の第1章 A 診療における臨床検査の役割、B 臨床検査の種類、C 臨床検査の場面と目的、D 臨床検査の評価を読んでおくこと。</p> <p>第2回：教科書の第2章 A 臨床検査の流れ、B 臨床検査の準備、C 検査を受ける患者への説明と注意、D 検体の採取法、保存・移送法、E 検査に伴う危険とその防止、F 簡易迅速検査機器とその取り扱いを読んでおくこと。</p> <p>第3回：感染予防について調べておくこと</p> <p>第4回：教科書の第3章 一般検査を読んでおくこと。</p> <p>第5回：教科書の第4章 血液学的検査を読んでおくこと。</p> <p>第6回：教科書の第5章 化学検査を読んでおくこと。</p> <p>第7回：教科書の第5章 化学検査を読んでおくこと。</p> <p>第8回：教科書の第6章 免疫・血清学検査を読んでおくこと。</p> <p>第9回：教科書の第7章 内分泌学検査を読んでおくこと。</p> <p>第10回：教科書の第8章 微生物学検査 A 感染症の診断と検査、B 各種感染症の検査を読み、微生物について調べておくこと。</p> <p>第11回：教科書の第8章 微生物学検査 C 各種病原体と検査を読んでおくこと。</p> <p>第12回：教科書の第9章 病理検査を読んでおくこと。</p> <p>第13回：教科書の第10章 生理機能検査 I 生理機能検査を読んでおくこと。</p> <p>第14回：教科書の第10章 生理機能検査 II 画像検査を読んでおくこと。</p> <p>第15回：教科書の第10章 生理機能検査 III 内視鏡検査を読んでおくこと。</p> <p>○ 復習について 講義終了後は教科書や配布プリント、小テスト等を用いて習得した知識を確実なものにするため復讐を1時間行っておくこと。</p>					

成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出席 30%、期末試験 70%で評価する。 ○ 但し、欠席回数が本学学則に定める回数以上のものは単位認定しない。尚、講義開始 20 分以降の入室は欠席とし、遅刻は 2 回で 1 回の欠席とする。また、理由無き途中退出は欠席として扱う。
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ○ 奈良 信雄 編集 系統看護学講座 別巻 『臨床検査』 第 7 版第 4 刷 医学書院 2017 年 2 月 1 日発行 ISBN978-4-260-01803-6
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 坂井 建雄 編集 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 『解剖生理学』 医学書院 ISBN 978-4-260-00671-2 ○ 日本病院会 診療情報管理士テキスト診療情報管理 I 基礎・医学編 2016 年 第 8 版 ○ 日本病院会 診療情報管理士教育問題集基礎医学編 2016 年度 第 11 版
備考	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本講義では臨床検査の概要を学習するとともに、既に勉強した人体の構造や機能、各種疾患についての知識を復習し、講義に臨んで欲しい。 ○ 医療用語が難しいので学習して講義に臨んでほしいが、分からない言葉があればその場で質問して理解して学習を進めていきましょう。 ○ 診療情報管理士を受験される方は、本授業内容が試験に出題されるため、分からないことは質問して下さい。 ○ 質問は随時または、授業終了後に教室で受け付けます。 ○ 学習の整理をするため、重要なところは小テストを実施します。以降の復讐に使用し期末試験に臨んで下さい。 ○ 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。
授 業 計 画	
<p>第 1 回：ガイダンス 臨床検査とその役割① 臨床検査の概要、臨床検査の種類臨床検査の場面と目的、臨床検査結果の評価</p> <p>第 2 回：臨床検査とその役割② 臨床検査の流れ、臨床検査の準備、検査を受ける患者への説明と注意、検体の採取法、保存・移送法検査に伴う危険とその防止、簡易迅速検査機器の取り扱い</p> <p>第 3 回：臨床検査の実際 感染予防</p> <p>第 4 回：検体検査① 一般検査</p> <p>第 5 回：検体検査② 血液学的検査</p> <p>第 6 回：検体検査③ 生化学検査①</p> <p>第 7 回：検体検査④ 生化学検査②</p> <p>第 8 回：検体検査⑤ 免疫・血清検査</p> <p>第 9 回：検体検査⑥ 内分泌検査</p> <p>第 10 回：検体検査⑦ 微生物検査 感染症の診断と検査、各種感染症の検査</p> <p>第 11 回：検体検査⑧ 微生物検査 各種病原体と検査</p> <p>第 12 回：検体検査⑨ 病理検査</p> <p>第 13 回：生理機能検査① 生理機能検査①</p> <p>第 14 回：生理機能検査① 生理機能検査②</p> <p>第 15 回：生理機能検査② 画像検査、内視鏡検査、CT、MRA、MRI</p> <p>毎回、授業内容についてのグループディスカッションを実施</p>	